

校長のつぶやき II

校長室便り 第15号

令和2年6月18日 山内

今回は皆さんの想像力を育むため、久しぶりにイラスト・写真なしで行きます。

○就職試験は1ヶ月遅れ、進学の日程はどうなるの? -振り回される3年生の心-

校長のつぶやき14号でお知らせのとおり、就職試験日程が1ヶ月遅れて10月15日からとなりました。このことに関係する部分について3年生や進路指導の先生方がしっかりと対応していますので安心してください。

本日の新聞報道では大学受験の日程について大きく取り上げられています。「全員が安心して公平公正に受験ができるように就職試験同様に入試日程を数週間後ろ倒しを」という全国校長協会からの要望（私もその旨をメールで回答しました）と「共通テストの後ろ倒しは非常に難しい」（W大総長・K大学長）という大学側の見解が二つに割れていてまだ決定していません。就職同様、岩高の先生はどうだろうと3年生のためにしっかり対策を整えてくれていますから、安心してください。

ここに来て、急に様々なことが変わり始めていますが、こういう時こそ一喜一憂しないで、今できること、今やらなければならないことにしっかり取り組むことです。 *Let it be. -The Beatles-*

全国的に見れば進学と就職はおおよそ80%と20%に分かれますが、本校の場合は昨年度卒業生の先輩方からすると、進学者が38%と就職者が62%と就職者が多くなっています。全日制普通科の高校ですが、この形が岩高の特徴と言えます。私が今年岩高の先生方をお願いしたのは、「結果ではなく、目標に向かって努力した姿をたたえてください」ということでした。例えばこの3月に卒業した3年生の先輩方で4年制大学に進学したのは6名と前年度よりも1名減りました。しかし、受験にチャレンジしてくれた数は13人と前年度のほぼ倍の数になりました。結果は出なくとも、自分の志のために挑戦する気持ちがどんなに大切か。図書館の尾崎とし子先生は毎日、図書館の様子を図書日誌で報告してくれます。その日誌によれば、今週は図書館で就職試験の勉強に励む3年生の姿があったそうです。コロナ禍にあって、いやコロナ禍だからこそ自分の志のためにコツコツ努力する姿勢が尊いのです。

○朝の挨拶運動最終日 -PTAの方々ありがとうございました。-

先週からPTAの方々にも朝の挨拶運動にご協力いただいておりますが、本日が最終日となりました。お声がけのおかげで、検温やマスクの怠りが激減しました。これからもPTAの皆様には様々な場面でご指導いただくかと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○平和ぼけ -連休前の慣れてきた頃の心の隙-

今週はじめ、1学年集会が行われました。詳しくは聞いていませんが、「からかい・悪ふざけ」がいじめにつながる前という趣旨だと思います。例年而言えば、今は新学期後ちょうど連休前、緊張感が解け、色々なことに慣れてきて、人間関係のトラブルが起こる時期です。もう一度「言葉は人を傷つけるために使うのではなく、人を助けるために使う」ということを自分に言い聞かせてください。また困っている人は必ず友人・先生方・家族に相談してください。世界の人たちが行進して訴えているとおり、人間はみんな同じなのです。

世の中はコロナの影響で命がけで働いている医療関係の方々をはじめ平和どころか、毎日が地獄のような日々を送っている方々がたくさんおります。平和ですることもなく、品位のないような悪ふざけは人を傷つけます。絶対にやめてください。一人一人が意識を高く持って「安全で安心な学校」を作りましょう。

Imagine there's no heaven. It's easy if you try. No hell below us above us only sky.